

NMC2026 年1月「例会報告書」

1. 開催日時：2026年1月21日（水曜日）10：30～12：30

2. 開催場所：独立行政法人国際協力機構 新宿区市谷本村町10-5

JICA（Japan International Cooperation Agency）

3. 内 容：①海外協力隊環境教育分野体験談 講師佐藤友紀氏

派遣先・バングラデシュ人民共和国ダッカ市役所廃棄物管理局

② JICA 地球ひろば 体験ゾーン ガイド役 佐藤友紀氏

■簡易トイレ（INAX による開発で¥5000）の設置活動。衛生設備、衛生習慣の行動改善につながる成果が得られること。

■母子手帳普及活動。画一的な内容ではなく、その国に適応し可視化する、例えば気に入られる表紙の絵を飾る、識字率から図を増やす、継続的に産前健診を増やすためにスタンプラリー形式にする等の工夫することで最終的に妊産婦死亡率の減少、乳幼児の死亡率の低下につながる改善の成果があるプロジェクトであること。

■発展途上国の民族衣装、紙幣（造幣局製造の通貨あり）、井戸のポンプ実機他

③J's Cafe「大使館お墨付きメニュー（ベトナム コム米・ガー鶏）」11:30～12:10

長米を用い、鶏肉の茹で汁にターメリックで色付けした米、サラダ、スープ付で800円。自衛隊東京地方協力本部、防衛省、日本学生支援機構の職員等も気軽にランチ。活気のある食文化で世界を感じる憩いのレストラン。

④アンケート記入 12:10～12:30

4. 参 加 者：6名 ①小川俊成 ②石村誠人 ③泉 美代子 ④細越博資 ⑤内田美津子 ⑥高橋節子

目的： 活動内容の中で開発途上国に「JICA 海外協力隊」として派遣し、途上国が抱える課題の解決に貢献する。その実体験から国際協力について学ぶ。更に、経済・社会開発や福祉向上、資金・技術協力活動の内容を知り、国際協力の実情を知り得る。

総評： JICA の事業や日本の国際協力の見識が広がる良い機会であった。更なる認識が高まり興味が深まる題材を得られた。経験談は、その成果が具体的で分かりやすく、劇的な衛生設備、衛生習慣には驚いた。子供たちにも笑顔をもたらした佐藤氏の活躍は、日本国民の誇りであり、深謝。今後の活躍を一同期待しています。

写真①講義 ②地球広場 ③市谷亀岡八幡宮（帰路参拝）

